

ガンマ線対応の 新型カメラ開発

大阪大大学院特任研
究員で、豊田放射線研
究所（本社・兵庫県）

の豊田巨博社長は一日
までにガンマ線を出す
放射性物質を高感度で
短時間に撮影できる
「セシウムカメラF」
を開発した。

放射性物質を撮影
し、パソコンの画面上
でガンマ線の分布を表
示できるカメラはこれ
までもあったが、「セ

シウムカメラF」は従
来より高感度で、測定
時間を約十五分の一の
一〜二分程度に短縮し
た。軽量化も実現した。

従来はガンマ線を捉
えるレンズが一つだけ
だったが六十四個に増
やし、測定時間の短縮
や軽量化につなげた。

豊田社長はガンマ線の
複眼カメラで特許を持
っている。一日、福島
民報社を訪れ、「除染
の効率化や帰還する住
民の安心につなげた
い」と話した。